



生徒指導だより



令和5年12月19日
岐阜北高等学校生徒指導部

1. 生徒送迎時における保護者のみなさまへのお願いと確認【再々通知】

師走の候、保護者のみなさまには益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は、本校の教育活動に格別のご理解とご協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、本校では朝夕における自家用車での生徒送迎に関して、「学校周辺道路での生徒の送迎・乗降は行わない」ようにご協力をお願いしております。度々このような注意喚起を Classi や生徒指導部機関紙 Kashiwa を通じて発信しておりますが、学校周辺の住民や自治会の方々から「保護者の送迎についての苦情」がなくなるのが状況です。本日は、岐阜北警察署より学校へ連絡がありました。

特に雨天時、生徒送迎車が、学校北側の道路上で駐停車し乗降しているため、たいへん混雑し、通行する一般車両の交通の妨げとなっております。今般、地元地区の方から交番や警察署に苦情が多く寄せられている旨、学校側に相談の電話を入れさせていただきました。地元地区の方々は、学校への要望書、あるいは申し入れ等を検討しています。そうなれば、近隣住民と学校、PTA との話し合いの場を設けることも検討しなければなりません。

以下は、これまで学校に寄せられた苦情やお叱りの内容(例)です。

- ◆ 通行量が多い朝の時間帯に自動車を路上に一旦停止させるため交通渋滞を招いていること
- ◆ 路上でのドアの開閉により、徒歩や自転車を通う生徒の安全に問題が生じていること
- ◆ 乗降や待ち停車のため、私有駐車場を無断で使用すること
- ◆ 下校時に近隣の道路で長時間アイドリング停車をしていること
- ◆ ドアの開閉音が騒音になっていること
- ◆ 注意したときに、じゃあ、どこに停めればいいんだよと逆切れされたこと

『学校が対応しても、他の人もいるから』と気にしないで路駐するなど、最近は、学校の指導体制に対してのご意見をいただくことが多くなっております。つきましては、お子さまの車による送迎はできるだけお控えくださいますよう、そして、自転車や公共交通機関等での通学をお子さまに促すようお願いいたします。

2. 学校と地域

学校において地域との連携は「開かれた学校」の基盤であり、不可欠なものです。地域の支え、協力がなければ学校運営もスムーズにはいきません。学校側は近隣への配慮が必要で、それには保護者のみなさまのご理解とご協力も必要です。一部のマナー違反が、岐阜北高校の保護者ならびに生徒全体の評価を下げてしまう結果になります。上記した内容は、確実に常識を超えた迷惑行為です。周りから「頑張ってるね」という気持ちさえ持ってもらえない学校って何だろう?と思いませんか?? 保護者のみなさまがルールとマナーを守る姿をお子さまに見せることで手本となり、これまで築いてきた「地域から愛される北高」での充実した学校生活を“共に支えて”いただきたいと思います。

自家用車での送迎が必要な場合

ケガやその他やむを得ない理由により自家用車での送迎を希望する場合は、校内乗り入れの許可証(黄色)を発行します。事前に学校(学級担任)へ申し出てください。

※「許可証(黄色)」をダッシュボード上の見やすい場所に掲示し、校内は徐行で走行してください。

3. 共育とは

“共育”とは、「きょういく」もしくは「ともいく」と読む造語で、意味は「さまざまな立場の人たちが連携して教育を行う」ことです。子どもを育てるにあたって親や教師だけでなく、地域の方々等、さまざまな環境や世代の大人たちと共により良い子育てを考えていくことで、一人では解決できなかった問題でも力を合わせて解決しやすくなり、しかも互いに成長できるという win-win の状態を作ることができます。これこそが“共育”のねらいです。共育関係をつくっていくためには、最低限のマナーやルールが必要です。北高独自のより良い共育関係を一緒に形成していただけませんか。

あなたはごどう思われますか?